



Georg Neumann GmbH の CEO に Yasmine Riechers が就任

2024 年 3 月 27 日
ゼンハイザー ジャパン株式会社

(本資料は、ベルリン 2024 年 3 月 21 日に Georg Neumann GmbH より発表されたプレスリリースの抄訳です)

Sennheiser グループ傘下の Georg Neumann GmbH は、新たな最高経営責任者 (CEO) に Yasmine Riechers が就任することを発表しました。Ralf Oehl の後任として、Riechers は Georg Neumann のグローバルビジネスの一層の拡大を図るとともに、同社の戦略的方向性を牽引します。なお Riechers はこれまで、Sennheiser グループの経営企画室の統括責任者を務めてきました。

今回の人事について、Sennheiser の共同 CEO である Andreas Sennheiser は、「Yasmine が Georg Neumann GmbH の経営を引き継いでくれることを非常に嬉しく思います。Yasmine は直ちに就任し、Neumann の戦略的方向性に焦点を当てて、さらなる進展を図っていきます」と述べています。

また、Sennheiser の共同 CEO の Daniel Sennheiser は、「Neumann のさらなる成長と世界的ブランドとしてのグローバルな営業基盤を強化していく上で、Yasmine の持つ戦略的思考と豊富な国際経験という強力な組み合わせが大いに威力を発揮してくれるでしょう」と語りました。

Yasmine Riechers は即時就任し、職務を開始します。Yasmine は直近では、Sennheiser グループの経営役員会の一員として、経営企画室の統括責任者を務めてきました。さらにそれ以前には、Sennheiser Greater China でオペレーション担当ディレクター、その後カントリーマネージャーを務めていました。2008 年に Sennheiser に入社して人事業務を担当した後、プロジェクトマネージャーとして Vier S Beteiligungsgesellschaft 社に移り、さらにその後 BR Science and Technology 社でゼネラルマネージャー、中国で Siemens Transformer 社の Traction Transformer 部門のゼネラルマネージャーを務め、2015 年に Sennheiser グループに復帰しました。Yasmine は独パーダーボルン大学で経済学を学び、在学中、1 学期間、英ノッティンガム・トレント大学に留学しています。その後、英パーミンガム大学に進み、2011 年に国際ビジネス修士号を取得しました。

Yasmine Riechers は「Neumann はプロフェッショナル用オーディオ業界において圧倒的評価を受けるメーカーです。このような素晴らしい歴史を持つ会社を将来に向けて率いていくことを誇りに思います。自分自身の新たな役割を大いに楽しみにしており、特に Neumann チームの皆さんや世界中のお客様と仕事ができることを楽しみにしています」と語りました。



た。Yasmine はすでに前任者である Ralf Oehl と共に Neumann の戦略の策定に加わっており、特に Merging Technologies との統合については、この両名が協同して進めてきました。Ralf Oehl は次のように述べています。「Neumann をオーディオのバリューチェーン全体を通じたリーディングプロバイダーに育てていくことは、自分にとって非常にやりがいのある任務でした。Sennheiser ファミリーの支援を受けて、従業員の懸命な頑張りや伝説的な Neumann コミュニティによって大きな成功を得ることができ、この 4 年間、私にはいくつもの特別な瞬間がもたらされました。この間に関わったすべての人に深く感謝いたします。の先も Neumann は常に大切な存在であり続けるでしょう。今は Yasmine がここからどのように発展させていくのかを楽しみにしています」。

Neumann の名前は 90 年以上に渡って、成功と結びつけられてきました。ドイツ・ベルリンを本拠とする Sennheiser グループ傘下の企業として、スタジオレコーディング用マイクロフォンのトップメーカーとみなされています。スタジオ制作において数えきれないほどのサウンドエンジニアが Neumann のマイクロフォンを使用しているだけでなく、Neumann の製品は世界中の有名ミュージシャンにも使われています。Neumann は 2010 年に初のスタジオモニターを発売し、2019 年にはスタジオヘッドフォンをリリースして、製品の幅を拡大しました。2023 年からは同じく Sennheiser 傘下の Merging Technologies と共同で、リファレンス品質のレコーディングワークフローをサポートするオーディオインターフェースの開発に取り組んでいます。Neumann は引き続き、開発、マーケティング、セールス、サービスの各部門からなる本社をベルリンに置いています。

■Neumann について

「Neumann.Berlin」の名で知られる Georg Neumann GmbH は、スタジオグレードのオーディオ機器に特化した世界的なトップメーカーであり、U 47、M 49、U 67、U 87 をはじめとするレコーディング用マイクロフォンの伝説的な名機の生みの親としても知られています。1928 年の創業以来、Neumann.Berlin は数々の技術的イノベーションを起こし、いくつもの国際的な賞を授与されてきました。専門は電気音響変換機の開発ですが、2010 年よりテレビやラジオ放送、レコーディング、オーディオ制作といった市場向けのスタジオモニター製品開発も手掛けています。Neumann 初のスタジオヘッドフォンは 2019 年初頭にリリースされ、2022 年以降はライブオーディオ用の、リファレンスクラスのソリューションに力を入れています。Georg Neumann GmbH は 1991 年より Sennheiser グループの傘下に入り、製品は現在、Sennheiser が世界中で展開する拠点ネットワークのほか、長期的な関係を構築してきた販売代理店を通じて各国で販売されています。

■当プレスリリースに関するお問い合わせ：

ゼンハイザージャパン株式会社 広報担当
株式会社ブレインズ・カンパニー
担当：中村・西田・坂川・齋藤
TEL：03-4580-9156 / MAIL：sennheiser@pjbc.co.jp